

根室の研究活動

研修部長 根室市立花咲港小学校
校長 照井 貴幸

1. はじめに

根室管内小中学校校長会は、これまでの取組組を生かし、年に一度、根室管内小中学校校長研究大会を開催している。

本年度は、3カ年研究計画の3年目にあたり、4分科会を構成して研究を推進してきた。

研究大会では、一人1レポートを継続し、各分科会の研究主題や研究の視点等に沿ったレポートを持ち寄り、協議を行った。

2. 研究計画

(1) 根室管内小中学校校長研究大会の開催

- ① 開催日 令和元年8月27日(火)
- ② 会場 中標津トーヨーグランドホテル
- ③ 研究主題

「根室の風土を生かし、
心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ社会に開かれた学校教育の創造」

④ 研究主題設定の理由

学校教育においては、教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、未来を作り出していくために必要な資質・能力を子ども一人一人にはぐくむ必要がある。

平成28年8月に「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」が取りまとめられた。その中では、子どもたちが社会において自立的に生きるために必要な「生きる力」の理念を具体化する重要性を述べ、次期学習指導要領において「生きる力」を①生きて働く「知識・技能」の習得②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養の3つの柱に沿って具体化し、教育課程の枠組みを再整理するとしている。また、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携協力しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちにはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現の大切さについても述べている。

これらを踏まえ、我々校長は、確固たる教育理念や将来へのビジョンをもち、これらの実現に向けてリーダーシップを強く発揮しなければならない。教職員の意識改革を図り、その資質の向上に努めるとともに、社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する責務がある。

そのために、根室管内小中学校校長会は国・道の動向や根室管内教育推進の重点を踏まえ、教育改革の推進と学習指導要領に基づいた学校教育の充実を図るため、これまで



の本研究会の成果を生かし、3か年継続研究の研究主題を「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ社会に開かれた学校教育の創造」とし、4つの分科会の研究主題と具体的な視点を設定する。

(2) 道小胆振・苫小牧大会での発表（令和元年9月13、14日）

第5分科会「豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方」にかかわり、プロジェクトチームを中心に「①よりよい社会をつくる人権教育の推進」「②豊かな心を育む道德教育の推進」を視점에協議を重ね研究発表を行った。

(3) 道中空知・岩見沢大会での発表（令和元年9月27、28日）

第〇分科会「生徒が利用するインターネット機器をめぐる問題への取組と情報教育」にかかわり、プロジェクトチームを中心に「①情報を正しく取捨選択し、情報モラルを大切にす情報教育の充実」「②主体的に生きていくための価値観や道徳的実践力の充実」を視점에協議を重ね研究発表を行った。

(4) 全国研究大会への参加

全連小秋田大会（令和元年10月17、18日）への参加

全日中群馬大会（令和元年10月24日、25日）への参加

3. 研究の概要、研究活動など

(1) 令和元年度根室管内小中学校長研究大会分科会の研究内容

① 第1分科会（教育課程に関する内容）

- 研究主題「創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施」
- 重点「学校や地域の特色を生かした教育課程の編成・実施」
 - ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と指導方法の工夫
 - ・ 地域の特色や伝統文化（ふるさと教育）を活用した教育課程の充実

② 第2分科会（学校経営に関する内容）

- 研究主題「学校の教育力を向上させる研修等の推進」
- 重点「教職員の意識改革と協力して学校運営に参画する校内体制の充実」
 - ・ 学校の意思決定と校長のリーダーシップの在り方
 - ・ 授業改善に向けた教職員の校内研修の充実

③ 第3分科会（健全育成に関する内容）

- 研究主題「豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実」
- 重点「豊かな心と健やかな身体を育む、校内体制と指導体制の充実」
 - ・ 健康・体力の向上を育む教育の充実
 - ・ 集団活動を通して豊かな心と健やかな身体を育てる教育の充実

④ 第4分科会（家庭・地域との連携に関する内容）

- 研究主題「家庭や地域と連携した学校経営」
- 重点「家庭や地域、他校種との相互連携と学校経営」
 - ・ 家庭や地域との連携、コミュニティスクールを活用した教育の充実
 - ・ 小中一貫教育や校種間連携を活用した教育の充実

4. おわりに

本年度は3か年研究計画の3年次目であり、これまでの研究を踏まえながら、課題解決にむけた校長の指導性、役割等が分科会協議の中で究明された。その成果を各校に持ち帰り実践、実証を行い、各市町でより質の高い実践を目指している。その実践が、再度管内全体において交流、研究討議を行う研究サイクルを定着させ、実効ある研究となるよう努めている。

次年度からまた新たな研究を始めるが、これまでの実践の蓄積を大切にしながら今日的な課題の解決に向かう。